

畜産みやぎ

題 字

宮城県知事 村井嘉浩

発行所

仙台市宮城野区安養寺三丁目11番24号

一般社団法人 宮城県畜産協会

電話 022-298-8473

編集発行人

佐野和夫

印刷所

(株)東北プリント



「第60回 宮城県ブラック アンド ホワイトショウ」(令和7年6月21日 美里町)

もくじ

CONTENTS

令和7年度畜産業振興事業について……………	2-3
令和7年度宮城県畜産協会事業の概要について……………	4-5
仙台市中央卸売市場食肉市場開設50周年記念 枝肉共進会の受賞結果について……………	6
令和7年度仙台牛枝肉共進会 in Tokyo 終了報告……………	7
畜試便り……………	8
衛生便り……………	9
第60回宮城県ブラックアンドホワイトショウ受賞結果……………	9
令和8年度宮城県農業大学校入校生を募集します (推薦入校試験)……………	10
農業大学校生の抱負……………	10

全国モーモー母ちゃんの集い IN かごしま が 開催されました……………	11
馬事畜産振興の活動報告……………	11
令和7年度宮城県総合畜産共進会開催のお知らせ……………	12
価格安定対策事業の発動状況について……………	12



みやぎの
畜産情報
発信基地

宮城県畜産協会ホームページ

U R L <https://www.miyagi-chikusan.jp>

畜産みやぎは上記ホームページからもご覧いただけます。



令和7年度畜産業振興事業について

宮城県農政部畜産課

畜産業振興事業は、「独立行政法人農畜産業振興機構法」に基づき、畜産振興に関する多岐にわたる事業を農畜産業振興機構が実施しているものです。

機構から補助を受けるのは、公募により選ばれた全国団体がほとんどですが、県域団体を通じて農協や畜産経営者も間接的に補助を受けることが可能です。

令和7年度畜産業振興事業の一部を紹介します。

事業名	事業目的	事業内容
酪農経営支援総合対策事業 4,566百万円	我が国の酪農は、高齢化等により酪農家戸数や飼養頭数が減少し、生産基盤の弱体化が進行している。このため、生産者集団等が行う地域の創意工夫を生かした取組を支援し、担い手や優良な乳用牛を確保していくとともに、経営の持続性の向上を図り、地域の実情に応じた酪農生産基盤の維持・強化を図る。 補助率（定額、2/3、1/2、1/3以内）	(1) 酪農生産基盤・飼養環境改善の支援 （ア）後継牛確保のための環境整備（機器導入（カーフハッチ、分娩カメラ等）、つなぎ牛舎の改良）、飼養環境の改善、暑熱対策、育成牛等の事故率低減支援（ワクチン1千円/頭）、供用期間の延長支援（肢蹄保護、乳房炎ワクチン等、1千円/頭）、飼料作物の不作から不足する飼料への支援（代替飼料の共同購入5円/kg） （イ）労働負担軽減に資する機械装置等の導入と一体的な施設の整備を支援する。 (2) 地域の生産体制の強化 生産基盤が脆弱な地域において持続的な生乳生産体制を確保するため、（ア）経営離脱農家等を研修施設として活用した担い手の確保、（イ）将来にわたって持続可能な経営体の創出、（ウ）後継牛育成のための広域預託を推進する取組等を支援する。 (3) 酪農ヘルパーの利用拡大 ①酪農ヘルパーの職業認知度向上、修学支援、学生インターンシップの受入、人材コンサルタントの活用、ヘルパー研修や外国人材の活用等の人材確保・育成 ②傷病時等の利用料金を軽減するための互助基金制度及び③広域利用調整、酪農ヘルパーの待遇改善や利用組合の経営改善等の利用組合強化の取組を支援する。 (4) 生乳流通体制の合理化の推進 生乳流通コストの生産者負担軽減等を図るため、生乳生産者団体等が行う「生乳流通合理化計画」等の検討・作成、生乳流通関係機器のリース導入、貯乳施設の減容化・需給調整機能を持たせるために必要な補改修、乳代精算方法の効率化等の取組を支援する。 (5) 生乳需要基盤の確保の推進 国産牛乳乳製品の消費の維持・定着を図るため、消費者等への酪農理解醸成活動、牛乳乳製品の新たな利用場面の普及や価値訴求、生産者自らが製造する牛乳乳製品の需要拡大のための技術研修や販路拡大等の取組を推進する。 (6) 乳用牛の計画的な改良・増殖の推進 牛群検定組合等が行う遺伝情報（SNP）データの収集等の取組、乳用牛の飼養管理に係る技術指導、調整交配等を支援する。
肉用牛経営安定対策補完事業 3,828百万円	肉用牛生産は中山間地域や離島等の基幹的な農業部門のひとつとして、地域経済の活性化に重要な役割を果たしてきたが、小規模・高齢者層を中心とした生産者の離脱等から生産基盤の脆弱化が危惧されている。このため、遺伝的多様性に配慮した繁殖雌牛の確保、子牛生産の効率化、担い手の育成等を支援することにより、生産基盤の強化を図る。 補助率（定額、1/2以内等）	(1) 肉用牛生産基盤強化対策 ①遺伝的多様性に配慮した繁殖雌牛及び優良な繁殖雌牛の導入を支援する。 導入奨励金：6万円/頭、9万円/頭（希少性の高い牛） ②繁殖雌牛の増頭に資する簡易牛舎（育成牛の簡易牛舎を含む）や子牛の健康維持に資する器具機材等の整備に対して支援を行う。 ③肉用牛ヘルパーの推進を支援する。 ④多様な担い手の育成を支援する。 ⑤特定地域における肉用牛の処理を支援する。 ⑥和牛精液等の流通管理を周知・徹底する取組を支援する。 (2) 地方特定品種並びに離島等及び山振地域の肉用牛振興対策 ①地方特定品種の特徴を活かした生産や放牧利用の拡大、飼養頭数の増頭等を推進するための取組を支援する。 ②離島等及び山振地域における肉用子牛の集出荷を促進する取組や、購買者を誘致する取組を支援する。 (3) 肉用子牛流通等対策 ①家畜商組合等が行う、金融機関から借り入れた資金を活用した肉用子牛等の預託を促進するための奨励金を交付する。 ②家畜商組合等が借り入れる預託牛の導入資金に係る債務保証及びその代位弁済を行う取組等を支援する。 ③肉用子牛等の流通の多様化を図るため、家畜商組合等による地域における優良な肉用牛の集出荷体制等を改善する取組や、生産者が遠隔地の家畜市場からの購入をサポートする取組を支援する。 ④肉用牛の流通体制の効率化等を図るため、輸送環境を改善する設備機器等の導入や中継拠点となる保留施設の整備、実証調査等の取組を支援する。

事業名	事業目的	事業内容																																																		
畜産特別支援資金融通事業 911百万円	負債の償還に支障を来している経営や家畜伝染病発生により深刻な影響を受けた経営に対する低利資金の円滑な融通を支援する。また、多額の資金を必要とする畜産経営の円滑な資金調達に資するために、動産担保融資が広く利用できる環境整備を支援する。	(1) 畜産特別資金 ①畜産リノベ資金（大家畜・養豚特別支援資金） 負債の償還が困難な畜産経営に対し、長期・低利の借換資金を融通する融資機関へ利子補給を行うとともに、経営改善指導及び債務保証に対する支援を行う。 ・貸付条件 貸付利率：1.80%以内（令和7年6月2日現在） <table><tr><td colspan="2"></td><td colspan="3">経営改善資金</td><td rowspan="2">経営継承資金</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>一般</td><td>特認</td><td>残高借換</td></tr><tr><td rowspan="2">償還期限</td><td>大家畜</td><td>15年以内</td><td colspan="3">25年以内</td></tr><tr><td>養豚</td><td>7年以内</td><td colspan="3">15年以内</td></tr><tr><td colspan="2">うち据置期間</td><td>3年以内</td><td colspan="3">5年以内</td></tr></table> 注：経営改善資金で残高借換を行うことができるのは令和9年度のみ。 ・融資枠(令和5～令和9年度) 500億円（大家畜450億円、養豚50億円） ・融資機関 農協、農協連、農林中央金庫、銀行等 ②酪農・肉用牛担い手緊急支援資金 経営環境が厳しい大家畜経営に対し、3年間の負債償還額の借換資金を緊急的に融通する融資機関へ利子補給を行うとともに、経営改善指導及び債務保証に対する支援を行う。 ・貸付条件 貸付利率：1.80%以内（令和7年6月2日現在） <table><tr><td>償還期限</td><td>大家畜</td><td>25年以内</td></tr><tr><td>うち据置期間</td><td></td><td>5年以内</td></tr></table> ・融資枠（令和7年度）①の融資枠（大家畜450億円）と共用 ・融資機関 農協、農協連、農林中央金庫、銀行等 (2) 家畜疾病経営維持資金 口蹄疫等の家畜伝染病発生に伴う経営の停止、畜産物等の単価の下落や売上の減少等により深刻な影響を受けた畜産経営に対し、経営再開等に必要な低利資金を融通する融資機関へ利子補給を行う。 ・貸付条件 貸付利率：経営再開資金、経営継続資金 1.625%以内 経営維持資金 2.0%以内（令和7年6月18日現在） <table><tr><td></td><td>経営再開資金（※）</td><td>経営継続資金</td><td>経営維持資金</td></tr><tr><td>貸付限度額</td><td>個人：2,000万円 法人：8,000万円</td><td colspan="2">(1頭当たり、100羽当たり) 乳用牛13万円、肥育牛13万円、繁殖用雌牛6.5万円、肥育豚1.3万円、繁殖豚2.6万円、家きん5.2万円、繁殖用めん羊及び山羊1.3万円</td></tr><tr><td>償還期限</td><td colspan="3">7年以内</td></tr><tr><td>うち据置期間</td><td colspan="3">3年以内</td></tr></table> ※経営再開資金のうちクイック融資メニューについては、貸付限度額を手当金等の交付相当額の範囲内とし、償還期限2年以内（一括償還）、無利子・保証料免除で支援。 ・融資枠(令和4～令和8年度) 60億円 ・融資機関 農協、農協連、農林中央金庫、銀行等 (3) 畜産動産担保融資活用支援事業 地域、経営規模又は畜種に関わらず、必要に応じて畜産動産担保融資が広く利用できる環境整備を進めるため、畜産動産担保融資の事例蓄積を継続するとともに、家畜の一般担保化へ向けた課題検討を行い、検討結果を広く融資機関に周知する。 ・事業実施期間 令和5～7年度			経営改善資金			経営継承資金			一般	特認	残高借換	償還期限	大家畜	15年以内	25年以内			養豚	7年以内	15年以内			うち据置期間		3年以内	5年以内			償還期限	大家畜	25年以内	うち据置期間		5年以内		経営再開資金（※）	経営継続資金	経営維持資金	貸付限度額	個人：2,000万円 法人：8,000万円	(1頭当たり、100羽当たり) 乳用牛13万円、肥育牛13万円、繁殖用雌牛6.5万円、肥育豚1.3万円、繁殖豚2.6万円、家きん5.2万円、繁殖用めん羊及び山羊1.3万円		償還期限	7年以内			うち据置期間	3年以内		
		経営改善資金			経営継承資金																																															
		一般	特認	残高借換																																																
償還期限	大家畜	15年以内	25年以内																																																	
	養豚	7年以内	15年以内																																																	
うち据置期間		3年以内	5年以内																																																	
償還期限	大家畜	25年以内																																																		
うち据置期間		5年以内																																																		
	経営再開資金（※）	経営継続資金	経営維持資金																																																	
貸付限度額	個人：2,000万円 法人：8,000万円	(1頭当たり、100羽当たり) 乳用牛13万円、肥育牛13万円、繁殖用雌牛6.5万円、肥育豚1.3万円、繁殖豚2.6万円、家きん5.2万円、繁殖用めん羊及び山羊1.3万円																																																		
償還期限	7年以内																																																			
うち据置期間	3年以内																																																			

令和7年度畜産産業振興事業一覧

事業名	所要額（百万円）	事業名	所要額（百万円）
加工原料乳生産者経営安定対策事業	-	畜産特別支援資金融通事業	911
酪農経営支援総合対策事業	4,566	食肉流通改善合理化支援事業	2,667
肉用牛経営安定対策補完事業	3,828	畜産副産物適正処分等推進事業	5,669
養豚経営安定対策補完事業	217	畜産経営安定化飼料緊急支援事業	149
堆肥舎等長寿命化推進事業	213	畜産経営災害等総合対策緊急支援事業	3,280
畜産高度化推進リース事業	2,200	バター・脱脂粉乳需給不均衡及び生乳流通改善緊急事業	1,659
国産畜産物安心確保等支援事業	1,548	優良和子牛生産推進緊急支援事業	66,227（内数）

※ 令和7年度畜産産業振興事業の概要
農林水産省HP

https://www.alic.go.jp/c-kanri/shinko01_001426.html
https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/1_zigyo/attach/pdf/index-209.pdf
https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/1_zigyo/attach/pdf/index-210.pdf

令和7年度宮城県畜産協会事業の概要について

一般社団法人 宮城県畜産協会

日頃より本会の事業推進に多大なるご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨今の配合飼料や石油製品、生産資材等の高騰は、畜産経営全般に深刻な影響を及ぼしています。また、物価高騰による畜産物の消費低迷は、酪農乳業並びに肉用牛枝肉価格の低迷や子牛市場価格の下落を引き起こし、価格安定制度が発動し補てん金は交付されているものの厳しい経営が続いています。

家畜伝染病においては、高病原性鳥インフルエンザは県内でも発生が見られ、全国的にも年明けから急増しており、鶏卵価格にも影響が出ています。また、牛ウイルス性下痢（BVD）が5年ぶりに県内で発生し、九州では国内初のランピースキン病が確認されており、より一層の飼養衛生管理の徹底が必要となっています。

このような情勢の中、本会としては国や県・関係団体等と連携し、生産コストの削減や経営基盤の体質強化、並びに畜産物消費拡大のための各種支援対策をはじめ、経営支援、価格安定対策、家畜衛生対策、家畜改良の諸事業に引き続き取り組み、畜産経営の安定化及び本県畜産の振興と継続的発展に努めます。

I 畜産経営支援対策事業

1. 畜産経営技術高度化促進事業

畜産をめぐる情勢の変化に対応し、経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体の育成強化を図るため、畜産経営診断の支援、畜産経営情報のデータベース化、畜産経営セミナー・研修会等の諸事業を実施し、経営実態に即した総合的な支援指導を実施します。

2. 畜産特別資金等推進指導事業

大家畜・養豚特別支援資金借受者の経営改善のため、支援協議会の開催、経営改善計画の作成・見直し等の指導を実施します。

3. 肉用牛経営安定対策補完事業（地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業）

肉用牛生産基盤の強化を図るため、遺伝的に多様な優良繁殖雌牛の導入、簡易畜舎等の整備を行う生産集団及び肉用牛ヘルパー組織に対して補助します。

4. 優良繁殖雌牛更新加速化事業

肉用牛の生産基盤の強化のため、畜産クラスター計画に基づき、高齢の繁殖雌牛から優良な若い繁殖雌牛に更新した生産者に対して補助金を交付するため、農協等を対象に事業説明及び事業参加要望書等の取りまとめ等を実施します。

5. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）に係る事業推進業務

畜産クラスター事業の機械導入事業の円滑な推進を図るため、畜産クラスター協議会等を対象に事業説明会及び事業参加要望書等の取りまとめを実施します。

6. 生産技術情報提供事業（受託事業）

家畜の生産性向上に係るデータ等の収集、分析及び技術指導を実施し、家畜の生産性向上を図ります。

7. 畜産経営体生産性向上対策事業に係る事業推進業務

酪農家や肉用牛農家の省力化・生産性向上に資するICT関連機械導入事業の円滑な推進を図るため、畜産応援会議等を対象に事業説明会及び事業参加要望書等の取りまとめを実施します。

8. 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（酪農労働省力化事業）に係る事業推進業務

酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（通称：酪農パワーアップ事業）の省力化機械導入事業及び施設整備事業の円滑な推進を図るため、楽酪応援会議等を対象に事業説明会及び事業参加要望書等の取りまとめを実施します。

II 家畜衛生対策事業

1. 特定疾病自衛防疫事業推進事業

(1) 各予防接種

伝染性疾病に対する予防接種を実施し、疾病発生による損耗防止に努めます。

(2) 自衛防疫推進事業

自衛防疫事業を円滑に推進するため自衛防疫推進会議等を開催し、予防接種や協会が実施する各種事業について情報共有化を図ります。

2. 家畜生産農場衛生対策事業

生産農場におけるヨーネ病、牛伝染性リンパ腫、牛ウイルス性下痢症の清浄化対策及びアカバネ病の発生・流行防止対策を推進します。

3. 牛疾病検査円滑化推進対策事業

国内の牛海綿状脳症（BSE）の浸潤状況を的確に把握するため、牛海綿状脳症対策特別措置法に基づき、死亡牛の所有者に対し、検査促進費、検体提供費、検査経費を補助し、死亡牛のBSE検査を推進します。

また、県、関係団体、死亡牛収集業者で構成する牛疾病検査円滑化推進対策協議会を開催し、死亡牛BSE検査を円滑に行うための体制維持に取り組みます。

4. 畜産物衛生環境整備円滑化事業

家畜死体冷却保管施設について、県、施設を利用している収集運搬業者、岩出山牧場管理者と協力し、施設の効率的な活用、衛生環境の保持、公害発生防止対策を図り、県内で発生する死亡家畜の円滑な処理を推進します。

県が実施する死亡牛のBSE検査の採材場所として利用している死亡獣畜取扱施設及び家畜死体冷却運搬車の点検・整備・修繕を継続し、使用者の安全確保や円滑な検査体制の維持を図ります。

5. 家畜防疫・衛生指導対策事業

(1) 地域自衛防疫取組促進対策事業

高病原性鳥インフルエンザや豚熱等の特定家畜伝染病の発生に備えて県内各地域で実施される防疫演習、埋却演習、研修会等を支援し、県の各部局・市町村・関係団体等が一体となった防疫体制の構築・維持を推進します。

- (2) 地域農場HACCP認証支援事業
県内における農場HACCP認証に取り組む農場に対し、専門家による構築指導を行い、地域における農場HACCP取組の中核となる農家を育成し、普及推進を図ります。
6. 育成馬予防接種推進事業
競走馬繁殖農場において、繁殖牝馬及び入厩前の育成馬に対し、馬インフルエンザワクチン及び三種混合ワクチン接種により疾病の発生防止を図ります。
7. 馬伝染性疾病防疫推進対策事業
競走馬以外の乗用馬等に対する馬インフルエンザワクチン接種及び繁殖牝馬に対する馬鼻肺炎ワクチン接種を推進し疾病の発生防止を図ります。
8. 家畜防疫互助基金支援事業
口蹄疫、豚熱等の特定家畜伝染病が発生した場合に備え、発生農場が経営再開までに必要な経費等を生産者が相互に支援を行うための互助基金制度について、関係機関と連携を図り普及啓蒙を図ります。
9. 家畜防疫互助金交付事業
本県下の契約者において交付対象疾病の豚熱が発生し、発生農場における早期経営再開に向けた互助金交付業務を行います。
10. 生乳取扱者研修事業
宮城県における生乳の乳質改善と今後の生乳品質格付方法の多様化に対処するため、生乳取扱者の生乳等に関する知識及び総合的検査技術の向上と県内統一した基準に基づく生乳の検査、衛生的取扱の適正化を推進するため、認定講習会並びに研修会を開催します。
11. 獣医師養成確保修学資金給付事業
獣医学を専攻する学生のうち産業動物獣医師を志す者に対し、獣医師養成確保修学資金を給し有能な産業動物獣医師の養成及び確保を図ります。

Ⅲ 家畜価格安定対策事業

1. 肉用子牛生産者補給金制度
肉用子牛生産安定等特別措置法に基づき、肉用牛生産の存立を確保するため、肉用子牛の生産者に対して、子牛の再生産を確保するため一定の条件の下、生産者補給金を交付します。
2. 優良和子牛生産推進緊急支援事業
肉用子牛の価格が、大幅に下落しているため、飼養衛生管理向上に向けた取組を行っている生産者に対して、和子牛のブロック別平均販売価格が発動基準を下回った場合に奨励金を交付します。
3. 和子牛産地基盤強化緊急特別対策事業
枝肉価格の低下や飼料価格の高止まり等により、子牛価格が低下し、繁殖農家の生産基盤が危機的状況にあることから、和子牛のブロック別平均売買価格が、発動基準を下回った場合に、「和子牛産地基盤強化計画」を作成した地域において、産地基盤強化に資する取組メニューを1つ以上行う生産者に対して、販売・自家保留頭数に応じた奨励金1万円/頭を交付します。
4. 肉用牛肥育経営安定交付金制度（肥育牛生産者積立金）
肉用牛肥育経営は生産費に占める素畜費の割合が大きいく、素畜価格と枝肉価格の水準によって経営収支の悪化が懸念されます。
このため、生産者積立金を造成し、毎月の肥育牛1頭当たりの粗収益が生産コストを下回った場合に差額の9割を補てんします。
5. 肉豚経営安定交付金制度
制度の円滑な実施を図るため、登録生産者との委託契約に基づき、書類申請及び保管等に関する助言指導を行います。
6. 肉牛事故共助推進事業
全農宮城県本部が販売する肉畜に発生する事故に対し、その損害を補償します。

IV 家畜改良事業

1. 宮城県総合畜産共進会開催事業
家畜の改良増殖と飼養管理技術の向上を図るため、乳用牛、肉用牛、養豚（枝肉）を対象とした総合畜産共進会を開催します。
2. 家畜人工授精用精液流通調整事業
本県の家畜改良を円滑に推進し、優れた能力をもった種雄牛の造成、商品性の高い乳牛・肉牛の生産を拡大するため、県内7カ所にサブセンターを設け、優良種雄牛を主体とした凍結精液の供給と液体窒素の配送を行うとともに、適正使用、計画交配を指導します。

(総務課 山崎 哲)

NAR 地 方 競 馬 全 国 協 会 岩手競馬（盛岡・水沢開催）8・9月 開催予定表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
8月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
9月			盛岡							盛岡							盛岡					盛岡									盛岡
9月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火		
	盛岡						盛岡						水沢								水沢								水沢		

※開催期間中の重賞レース

- ・ 8/3(日) 第39回ひまわり賞(オークス) ・ 8/5(火) 第26回オパールカップ ・ 8/10(日) 第25回フェアリーカップ
・ 8/11(祝・月) 第30回クラスターカップ ・ 8/19(日) 第27回ジュニアグランプリ ・ 8/24(日) 第27回岩手県知事杯OROカップ
・ 8/31(日) 第43回ビギナズカップ ・ 9/2(火) 第57回不来方賞 ・ 9/7(日) 第51回ビューチフルドリームカップ ・ 9/15(祝・月) 第45回若駒賞
・ 9/21(日) 第33回青藍賞 ・ 9/28(日) 第6回オートムティアラフ

仙台市中央卸売市場 食肉市場開設50周年記念枝肉共進会の受賞結果について

仙台市中央食肉卸売市場株式会社

仙台市中央卸売市場食肉市場において、7月9日（水）に仙台市中央卸売市場食肉市場開設50周年記念事業協賛会主催の枝肉共進会が、肉牛250頭・肉豚299頭上場で開催され盛会裡に終了いたしました。関係者各位に改めて御礼申し上げます。

厳正な審査により入賞された方々を紹介いたします。

なお、所属団体、出品者名、枝肉重量、せり単価の順で記載いたします。

【第1部黒毛和種（去勢）の部】

褒賞	所属団体	出品者名	血統		枝肉重量 (kg)	せり単価 (円)
			父	母方の父		
名誉賞	宮城家畜商出荷組合	川村 大樹	若百合	安福久	645.5	6,002
最優秀賞	J A みやぎ登米（豊里）	佐藤 昭彦	勝早桜5	安福久	622.0	3,203
	一般	千葉 忠浩	福之姫	安福久	688.0	2,888
	宮城家畜商出荷組合	高橋 浩	若百合	諒太郎	586.0	3,504
	宮城家畜商出荷組合	日下 誠	安亀忠	安福久	601.5	2,867
	宮城家畜商出荷組合	川村 和弘	福之姫	聖香藤	700.0	3,506
優秀賞	一般	日下 平一	福之姫	美国桜	630.0	2,702
	宮城家畜商出荷組合	(株)川村ファーム	茂福久	美国桜	617.0	2,824
	宮城家畜商出荷組合	(株)川村ファーム	茂福久	諒太郎	694.5	2,802
	宮城家畜商出荷組合	日下 平一	福之姫	幸紀雄	784.5	2,936
	J A 新みやぎ（南郷）	海上 純	英貞	諒太郎	624.0	2,816
	J A 新みやぎ（鹿島台）	大友 亨	茂晴花	安福久	587.5	2,796
	J A 古川	(株)ushitake	茂福久	茂洋	599.0	2,801
	J A 古川	高橋 祐悦	茂福久	白鳳85の3	606.5	2,785
	宮城家畜商出荷組合	遠藤 和真	若百合	安福久	617.0	3,000

【第2部黒毛和種（雌）の部】

褒賞	所属団体	出品者名	血統		枝肉重量 (kg)	せり単価 (円)
			父	母方の父		
名誉賞	J A 新みやぎ（南三陸）	阿部 久子	福之姫	耕富士	489.0	5,112
最優秀賞	J A みやぎ仙南（蔵王）	沼辺 吉孝	愛之国	安福久	497.5	3,304
	J A みやぎ登米（米山）	中村 雄哉	勝金幸	好平茂	489.0	3,076
優秀賞	一般	(有)斎藤畜産	二刀流	百合白清2	486.5	2,858
	J A みやぎ登米（南方）	鈴木 吉雄	礼美茂	満天白清	470.0	3,144
	J A 新みやぎ（栗駒中央）	鈴木 貴弘	忠百合	聖香藤	467.0	3,001
	宮城家畜商出荷組合	佐藤 寿男	諒太郎	安福久	519.0	3,154

【第3部交雑種（去勢・雌）の部】

褒賞	所属団体	出品者名	血統（父）	枝肉重量 (kg)	せり単価 (円)
名誉賞	一般	(有)ダイコク	北美津久	529.5	2,002
最優秀賞	宮城家畜商出荷組合	佐藤 大樹	北美津久	602.5	1,900
優秀賞	一般	(有)ダイマルファーム	花之福	709.0	1,638

【第4部肉豚の部】

褒賞	所属団体	出品者名	品種	枝肉重量 (kg)	せり単価 (円)
名誉賞	太平洋ブリーディング(株)	ハイランド農場小笠原農場	WLD	75.0	2,032
最優秀賞	伊藤忠飼料(株)	(有)大槻ファーム	LWD	79.5	952
	太平洋ブリーディング(株)	宮城農場	WLD	78.5	972
優秀賞	丸山(株)	(農)蔵王ファーム本場	WLD	79.5	858
	日本農産工業(株)	社会法人みんなの輪 ひなた農場	LWD	79.5	856
	昭和畜肉研究会	(株)ケイアイファーム 玉山農場	LWD	80.5	2,000
	伊藤忠飼料(株)	(有)大槻ファーム	LWD	76.0	856
	太平洋ブリーディング(株)	雪沢農場	LWD	77.5	856

（営業部営業2課 落合 宏幸）

（公社）中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

畜産現場の“今”を30分の番組にしました！

映像を各種研修会、セミナーにご活用ください！

配信中の内容：総集編 思いが繋ぐ畜産の未来／明るい未来へ向けて畜産DXの取り組み／乳用牛改良の取り組み／地域ぐるみで国産飼料生産！ほか



スマートフォンからはこちら
パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産

がんばる！畜産！8



（公社）中央畜産会 経営支援部（情報） TEL03-6206-0846

令和7年度仙台牛枝肉共進会inTokyo終了報告

全農宮城県本部

令和7年度仙台牛枝肉共進会inTokyoは、6月4日・5日で東京都中央卸売市場食肉市場において開催され、盛会のうちに終了しました。

《チャンピオン牛》

出品者 菅野 豊博 (JA新みやぎ)
血統 父:美津照重 母の父:百合茂 母の母の父:安福久
規格 A-5 BMSNo12 枝肉重量 578kg
枝肉単価 5,005円

《最優秀賞牛》

出品者 佐々木 清信 (JAみやぎ登米)
血統 父:花靖国 母の父:安福久 母の母の父:平茂勝
規格 A-5 BMSNo12 枝肉重量 606kg
枝肉単価 3,135円

《最優秀賞牛》

出品者 (同) 村田ファーム (JA新みやぎ)
血統 父:福之姫 母の父:安福久 母の母の父:百合茂
規格 A-5 BMSNo12 枝肉重量 655kg
枝肉単価 3,099円

1) チャンピオン牛の概要について

格付は「A-5」で枝肉重量578kg、ロース面積100cm²、バラの厚さ9.2cm、皮下脂肪の厚さ2.6cm、歩留基準値79.0と、枝肉の厚みに優れており、ロース芯も大きく、小ザシで無駄のない枝肉でした。

2) 審査経過

県内から選りすぐりの69頭が上場され、各平均数値は枝肉重量575.4kg、BMSNo10.5、税抜単価が2,578円となっており、情勢や直近の枝肉相場を考慮すると高値の取引でした。

その他の成績については、平均数値でロース面積が去勢93cm²、メス78cm²、バラの厚さが去勢9.6cm、メスが8.1cm、皮下脂肪の厚さが去勢2.2cm、メスが2.5cm、歩留基準値が去勢78.4、メスが76.9と非常に優秀な数値を記録しました。

今年の大会も、肉の色つや、きめ締まり、ともに、大変良好な成績で、肉量・肉質兼備である仙台牛の特徴が際立つ枝肉が多くを占めました。全国でもトップレベルである宮城県産の実力を如何なく発揮された結果、A-5等級率は89.8%と非常に高い成績でした。

チャンピオン牛



(畜産部生産販売課 茂木 辰也)



宮城県産黒毛和種

仙台牛

仙台牛銘柄推進協議会

仙台牛公式
Instagram

6月1日は
牛乳の日
WORLD MILK DAY

宮城県牛乳普及協会

〈畜試便り〉

第20回産肉能力現場後代検定の成績について

宮城県畜産試験場

第20回産肉能力現場後代検定が終了しましたので、その概要について報告します。今回検定した候補牛は、第20回1次「勝美雷」号、「華福久」号、2次「達福久」号、「茂花美」号の4頭で、検定期間は1次の2頭を令和5年4月24日から令和7年2月16日、2次の2頭を令和5年6月20日から令和7年4月7日に実施しました。

「勝美雷」号の父は「洋糸波」(宮城県栗原市)、母の父は「勝忠平」(鹿児島県)、母の母の父は「第1花国」(青森県)で、生産地は加美郡加美町(畠山禎之氏)です。現場後代検定成績では、枝肉重量513.1kg、BMSNo.9.6となりました。また、ロース芯面積は82.2cm²で県歴代2位の成績でしたが、やや腿の張りの弱さやロース芯の粗ザシといった点が見られました。

「華福久」号の父は「茂福久」(宮城県栗原市)、母の父は「華春福」(鹿児島県)、母の母の父は「福華1」(鹿児島県)で、生産地は遠田郡涌谷町(小竹義幸氏)です。現場後代検定成績では、枝肉重量531.0kg、BMSNo.10.4となり、後者は茂福久に次ぐ県歴代2位の優れた結果でした。また、本牛の特徴と同様に伸びのある枝肉が多く枝肉重量の成績も優れていました。

「達福久」号の父は「茂福久」(宮城県栗原市)、母の父は「百合茂」(鹿児島県)、母の母の父は「安福久」(栃木県)で、生産地は加美郡加美町(尾形達雄氏)です。現場後代検定成績では、枝肉重量491.3kg、BMSNo.9.7となりました。優れた脂肪交雑成績でしたが、枝肉重量は父「茂福久」を下回る成績でした。

「茂花美」号の父は「茂洋美」(宮城県栗原市)、母の父は「勝忠平」(鹿児島県)、母の母の父は「安平」(宮崎県)で、生産地は栗原市花山(佐々木貴徳氏)です。現場後代検定成績では、枝肉重量527.6kg、BMSNo.9.8となりました。優れた脂肪交雑成績でしたが、枝肉ごとにバラツキが見られました。

現場後代検定の結果、「華福久」号が新規基幹種雄牛として選抜されました。産肉能力の高さに加え、「華福久」号の産子は發育・体の伸び・皮膚のゆとりが優れていることから、肉用牛改良に活用することで宮城県産子牛の評価向上及び銘柄牛肉「仙台牛」の生産拡大の弾みとなります。家畜人工授精用精液は、7月から注文を受け付け、8月から配布する予定です。

第20回産肉能力現場後代検定成績・全頭(平均値)

名 号	性別	材料牛頭数	出荷月齢	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	バラ厚(cm)	皮下脂肪厚(cm)	歩留基準値	BMS No.
勝美雷	去勢	7	29.0	555.6	84.0	9.7	2.3	77.8	9.6
	雌	10	29.1	483.5	81.0	9.0	3.0	77.1	9.6
	計	17	29.1	513.1	82.2	9.3	2.7	77.4	9.6
華福久	去勢	17	29.3	547.5	75.7	9.6	2.3	76.8	10.3
	雌	8	29.5	496.1	78.6	9.0	2.6	77.1	10.8
	計	25	29.4	531.0	76.6	9.4	2.4	76.9	10.4
達福久	去勢	7	29.8	507.9	74.9	8.8	1.9	77.0	10.4
	雌	11	29.9	480.8	76.5	8.9	2.5	77.1	9.3
	計	18	29.9	491.3	75.8	8.9	2.3	77.1	9.7
茂花美	去勢	10	29.9	542.1	76.7	9.5	2.2	77.0	9.7
	雌	7	30.0	506.9	76.9	9.1	2.9	76.6	10.0
	計	17	30.0	527.6	76.8	9.4	2.5	76.8	9.8



『華福久』号



令和6年度現場後代検定合同調査会より

〈衛生便り〉

吸血昆虫にご注意を！

宮城県仙台家畜保健衛生所

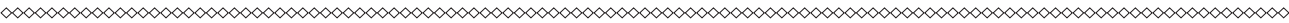
6月以降、猛暑が続いており、気づけば夏に突入。暑い毎日に知らずのうちに忍び寄る影。
ぶん……ぶーん……、そう、蚊です。夏になると増える吸血昆虫は蚊だけではなくアブやサシバエ、ヌカカなど様々な種類がいます。まとわりつくだけでも厄介ですが、やつらは病気を運んでくる可能性もあります。そこで、昆虫媒介性の病気として、去年九州で発生したランピースキン病、流産や異常産を引き起こすアカバネ病について紹介します。

ランピースキン病は、牛の届出伝染病です。主に、蚊、ハエ、ダニの媒介による機械的伝播や感染した牛の移動により感染が拡大します。感染した牛は、全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少などの症状を示し、生産性に影響を及ぼします。

アカバネ病は、牛、めん羊、山羊の届出伝染病です。ヌカカが媒介し、初夏から秋にかけて虫が増加するため、ウイルスに感染しやすくなります。感染した成体はほとんど症状を示しませんが、妊娠母体ではウイルスが胎子に感染し、流産や早産、死産に加えて先天異常子の出産（いわゆる異常産）が起こります。ウイルスの感染と異常産の発生時期にはズレがあり、流産や異常産は晩秋から翌春にかけて起こります。宮城県では約10～15年周期で流行し、直近では2010年に流行しました。周期的にも危ない時期ですので、ワクチン接種などの対策が引き続き重要となります。

害虫対策は、虫の勢いが本格的になる前の対処が特に有効です。殺虫剤の散布や粘着シート等を活用して害虫の駆除をし、吸血昆虫から家畜を守りましょう。

(防疫班 田中 芳樹)



第60回宮城県ブラックアンドホワイトショウ受賞結果

宮城県ホルスタイン改良同志会

去る令和7年6月21日（土）みやぎ総合家畜市場を会場に、第60回宮城県ブラックアンドホワイトショウが開催されました。60回目という節目の本共進会では、北海道広尾郡広尾町より酪農家 佐藤孝一氏をお招きし、35頭による審査が行われ、無事盛会裡に終えることができました。開催にあたり、多大なるご支援ご協力を賜りました関係各位に心より御礼申し上げます。

なお、上位入賞牛は下表のとおりです。

褒 賞	部	名 号	市町村	出品者氏名
経産牛グランドチャンピオン インターミディエイトチャンピオン	5	レオナード トーテム ダイオン	丸森町	(有) 半澤牧場
未産牛グランドチャンピオン	1	アイスヴィレツジ フルー デニス フタゴ	栗原市	(有) 小山牧場
経産牛リザーブグランドチャンピオン リザーブインターミディエイトチャンピオン	5	エイトロール キングドック ニーナ エンドウ	大崎市	八巻 誠
未産牛リザーブグランドチャンピオン	2	ミヤノウ ラスターP イチゴオレ KF ベルベット	名取市	宮城県農業高等学校
シニアチャンピオン	8	イチジヨウフアーム アフターシヨック サブラ	丸森町	一條 有希
リザーブシニアチャンピオン	8	エイトロール デンバー オーロラ	大崎市	八巻 誠
ベストリードマン賞 : 栗原市 小山 来翔				
団 体 賞 : 仙南地区				

(事務局：宮城県畜産協会 家畜改良課 遠藤 航)

地方競馬全国協会からのご案内

「地方競馬の馬主になりたい！」という方は地方競馬全国協会までご連絡下さい。
地方競馬の馬主登録制度についてご案内いたします。
なお、地方競馬の馬主情報については、地方競馬サイト（<http://www.keiba.go.jp/>）でもご覧になれます。
(担当：審査部登録課 電話03-3583-2142)

令和8年度宮城県農業大学校入校生を募集します（推薦入校試験）

宮城県農業大学校

本校は、農業の近代化と経済社会の発展に対応できる、高度な知識・技術を身につけ優れた農業経営者と農村地域の指導者を育成することをねらいとして設立された農業大学校です。

下記により、令和8年度入校生を募集する推薦入校試験が行われますので、多数の出願をお願いします。

記

◇募集人員（推薦入校試験・一般入校試験（前期・後期）の合計）

畜産学部15名、水田経営学部15名、園芸学部15名、アグリビジネス学部10名

（注）推薦入校試験の募集人員は学部定員の8割程度とします

◇試験区分 学校長推薦〔在学生対象〕、地域推薦〔既卒者対象〕

◇募集期間 令和7年9月1日（月）～令和7年9月16日（火）（必着）

◇試験日時 令和7年10月1日（水）午前8時45分～

◇試験場所 宮城県農業大学校名取教場

◇試験科目 ①筆記試験 小論文（60分 800字）

②面接試験 個人面接（15分程度）

◇合格発表日 令和7年10月17日（金）午前10時

◇奨学金制度

①本校を卒業後、宮城県内での就農を予定されている方は、公益社団法人みやぎ農業振興公社奨学金の申請ができます。

②本校を卒業後、就農を予定されている方は、国の事業である就農準備資金の申請ができます。

③独立行政法人日本学生支援機構の奨学金制度が利用できます。

※上記①～③の奨学金の採択に当たっては一定の要件を満たす必要があります。

入校試験・奨学金等についての詳細は、宮城県農業大学校教務部学生班・教務班（電話022-383-8138）までお問い合わせください。

【宮城県農業大学校HP】



〈農業大学校生の抱負〉

畜産農家を目指して

宮城県農業大学校 畜産学部 2学年 二階堂 蒼空



私の家では、主食用米4haの生産と繁殖牛を5頭飼育し、複合で経営を行っています。幼いころから牛の飼養管理の手伝いをし、牛と触れ合い手をかけている中で成長していく過程を見ることができるのは、畜産のやりがいであり魅力だと思えるようになりました。これらの経験から、将来はやりがいの感じられる農業をしたいとの思いから就農しようと決意しました。

そこで、就農に向けて必要な知識と技術を身に着けるため、宮城県農業大学校に進学しました。1学年では、栗原市の和牛繁殖と水稻の複合経営の農家で約1ヶ月間の先進農業体験学習を行い、牛の飼養管理や農家の経営方針、水田に関する知識や技術を学ぶことができ、貴重な経験となりました。これからは、より多くの知識や技術を得ると同時に、家畜人工授精師と牛削蹄師の資格取得を目指し、勉学に励んでいきたいと考えています。

将来、私は和牛一貫経営をやりたいと思っています。生まれてから肉になるまで自分の手で育て、消費者に喜ばれるような牛肉を作りたいです。そのために、経営術や繁殖・肥育技術を学び、近年の資材価格高騰にも負けない安定した経営とおいしい牛肉を生産することで、地域で一番有名な畜産農家になりたいと思っています。その目標の実現のため、たくさんのことに挑戦し、明らかになった課題を解決していきたいと考えています。「なぜ」を疑問のまま放置せず、解決策や答えを探しながら、より良い牛を作り上げられるように努力していきます。



国産の牛乳、お肉、卵を食べてまもう

畜産物を生産するためのコストが上昇しています。
皆様に国産の畜産物を食べていただくことが生産者の応援に繋がります。

公益社団法人 一般社団法人

中央畜産会 × 宮城県畜産協会

全国の畜産会組織は地方競馬の売上の一部を活用して、日本の畜産振興に取り組んでいます。





全国モーモーマーちゃんの集い IN かがしま が開催されました

一般社団法人 宮城県畜産協会

令和7年6月19日、20日に鹿児島県鹿屋市で「第12回全国モーモーマーちゃんの集い IN かがしま」が開催され、24道府県約270名の母ちゃん達が集いました。

宮城県の母ちゃん(13名)が、朝一番の飛行機で出発し、宮城県のユニホーム(オレンジ色のポロシャツ)が、会場でどこの母ちゃんやスタッフよりも宮城県が目立っていました。

体験発表は、「もーもーかあちゃんになるまで」と題して鹿児島県霧島市 窪田 加奈子氏より、経営概況【繁殖牛450頭、肥育100頭、子牛360頭、従業員6名】や、農水や海外研修生の受入れ、スマート農業活用、6次化の実施、家では子供が6人いる等とてもパワフルな母ちゃんの活動発表でした。基調講演は、「和牛子牛 哺育・育成の管理要点」と題して鹿児島県鹿児島市 株式会社Guardian 代表取締役 伏見 康生氏、獣医師 永吉 麻紀子氏より、和牛肉をどうすれば世界へ輸出できるか、和牛子牛生産の発育の良い子牛を作るための講演がありました。1分間スピーチでは、めずらしく宮城県勢は静観していました。

交流会は、県知事や市長などの来賓挨拶、地元で肥育された牛肉の料理や魚の解体ショー、大抽選会等あり、予定の2時間を大きく超え、約4時間近くの交流会でした。交流会でもユニホームの色だけが目立つ宮城県でした。

今回は、キャリーケースのキャスターが取れようが、朝4時過ぎにラインが来ようが、体調不良になろうが毎回のトラブルを対応する姿がとても頼もしい母ちゃん達でした。今回の大会は、なぜか大人しい分、トラブルは賑やかになったようでした。

2年後に「北海道」で開催します。県内の牛飼いの母ちゃん、2年後に一緒に北海道で全国のモーモーマーちゃんとは交流しませんか？北海道まで行く事が難しい母ちゃんには、家畜市場で開催する県内のモーモーマーちゃんの集いはいかがですか？今回の大会で記事に載せきれない報告をしたいと思いますので、皆様の参加を心よりお待ちしております。



全国牛飼いの女子サミット 第12回全国モーモーマーちゃんの集いinかがしま
令和7年6月19日～20日ホテルさつき苑

(経営支援課 庄司 清文)

馬事畜産振興の活動報告

宮城県地域畜産振興対策協議会

地方競馬の普及啓発及び畜産物の消費拡大を図ることを目的に、馬事畜産振興推進事業(地方競馬全国協会委託)において、以下のとおり普及・啓発活動を行いました。

岩手競馬 畜産フェア

令和7年6月15日(日)、岩手県水沢競馬場において、東北6県の畜産協会等並びに各県馬事畜産協議会の合同による「畜産フェア」を開催しました。

当日は開門と同時に、先着1,200名様に引換券を配布し、特設ブースにて随時各県畜産加工品の引換えを行いました。湿度が高く蒸し暑い日でしたが、畜産加工品のプレゼントに来場者は大変よろこんでいました。

青森200名：牧場のビーフカレー

宮城150名：宮城伊達ざくらポークカレー、花兒園マヨネーズ

岩手400名：エルンテ・フェスト熟成粗挽きポークウインナー、エルンテ・チーズ、岩手県産豚もも焼豚、いぶしの里モモハム、串つきフランクフルト

秋田150名：秋田牛極上カレー、男のホルモン(味噌味・塩味)

山形200名：山形県産豚あらびきウインナー、米沢ローストハムスライス

福島100名：福島牛ビーフカレー



(事務局：宮城県畜産協会総務課 吉田 翔子)

令和7年度宮城県総合畜産共進会開催のお知らせ

一般社団法人 宮城県畜産協会

農林水産祭参加 令和7年度宮城県総合畜産共進会を下記日程のとおり開催いたしますので、ご案内いたします。

記

- 1 肉用牛の部
 - ・会 期 令和7年9月5日(金)～6日(土)
 - ・場 所 みやぎ総合家畜市場(美里町)
 - ・一般参観 9月6日(土) 9:30～13:00
- 2 乳用牛の部
 - ・会 期 令和7年9月24日(水)
 - ・場 所 みやぎ総合家畜市場(美里町)
 - ・一般参観 9月24日(水) 9:30～12:30
- 3 肉豚の部
 - ・会 期 令和7年10月29日(水)～31日(金)
 - ・場 所 (株)宮城県食肉流通公社(登米市)
 - ・枝肉展示及び褒賞授与 10月31日(金) 10:30～12:30

価格安定対策事業の発動状況について

一般社団法人 宮城県畜産協会

◎肉用牛肥育経営安定交付金(牛マルキン)の交付金単価

販売月	肉専用種(宮城県)	交 雑 種(全国)	乳 用 種(全国)
令和7年4月 (概算払)	—	—	(14,475.8円)
5月 (概算払)	—	—	(22,460.6円)

◎肉用子牛生産者補給金(子牛補給金) 令和7年度第1四半期(4月～6月)交付なし

◎優良和子牛生産推進緊急支援事業 令和7年度第1四半期(4月～6月)交付なし

◎和子牛産地基盤強化緊急特別対策事業 令和7年度第1四半期(4月～6月)交付なし

◎肉豚経営安定交付金(豚マルキン) 令和7年度第1四半期(4月～6月)交付なし

感動を呼ぶ製品をめざして ORION ハードシステムとソフトシステム (ビフォー&アフターサービス)で あなたの経営を応援。 これがオリオンの思想です。 中央オリオン株式会社 宮城営業所 〒989-6226 大崎市古川新田字泉屋敷59番4号 TEL: 0229-26-4330 FAX: 0229-26-4338	 農業 共済 新聞	次の一手を未来につなげたい 総合印刷企業 株式会社 東北プリント 〒980-0822 仙台市青葉区立町24番24号 TEL 022-263-1166 FAX 022-224-3986 E-mail mail@tohokuprint.co.jp
---	---	--

宮城県動物薬品器材協会(会員名)

(株)アスコ宮城営業所

仙台市泉区泉中央4丁目19-1 TEL022-347-4138

小田島商事(株)

大崎市古川清水字周防10-1 TEL0229-26-4567

MPアグロ(株)

仙台支店 仙台市太白区富沢南二丁目8-9 TEL022-245-4306

(株)アグロジャパン南東北営業部宮城チーム

仙台市泉区八乙女3-3-1 TEL022-343-5301